

国語専修

以下の2つの課題について計画的に取り組み、大学入学後の学修に備えてください。

1. (学部共通課題) ATAMA+

指定された全項目(現代文、古文、漢文)に取り組み、入学前に完了させる

2. (必須) 高等学校国語科「言語文化」の教科書研究

(一つ選択) 推薦図書の要約文、あるいは漢字検定準2級以上または文章検定準2級以上の受検

○学習の進め方

(全員必須) 高等学校の国語教科書「言語文化」について、全編にわたって教科書掲載の本文を丁寧な文字で書き写し、その上で教科書を書き写す作業を通して気づいたことをノートにまとめる。

〈注意点〉

- ・ノートはB5の10mm方眼罫30枚のものを自前で用意し、10mm方眼1マスに1文字を丁寧に書き写すこと(国語の教師にとって、文字は特に求められる資質能力です)
- ・書き写す対象は本文のみとし、目次、本文の注、付録については対象外とする
- ・教科書を書き写す作業を通して気づいたことについては、ノートの最後にまとめる

(選択1) 推薦図書の要約文：推薦図書リストから2冊を選び、以下の注意点を踏まえながら要約文(それぞれ原稿用紙3枚程度)を作成する。

〈注意点〉

- ・印象に残った部分を引用し、感想を述べる(1か所につき、引用と感想を合わせて100字程度)
- ・上記を1冊につき10か所程度、全編にわたって満遍なくまとめる。

(選択2) 漢検、または文章検の受検：漢字検定準2級以上、または文章検定準2級以上を

受検すること。これらを受検する場合は、推薦図書の要約を免除する。入学後に、日本漢字能力検定協会から送られてくる成績表の写しを提出すること。なお、既に準2級以上を取得しており、上位級を受検しない場合は、推薦図書2冊の要約を行うこと。

※ 教科書を書き写したノートと要約文は、4月入学式当日の専修別ガイダンス時に提出する（入学説明会で進度を確認するので計画的に進めること）。

※ 入学後に必要な辞書の準備（『電子辞書』でも可。現在使用しているものは継続して持参使用する。以下①②③④の辞典は参考）

- ①『広辞苑』（岩波書店）などの国語辞典
- ②漢和辞典（『全訳 漢辞海』三省堂）
- ③古語辞典（『ベネッセ全訳 古語辞典』ベネッセ）
- ④「国語便覧」（高校で使用したもので良い）